

社協だより

誰もがつながり 支えあうまち 丹波篠山

たんばささやま

第154号

令和5年1月20日発行

2



福祉の世界に学ぶ 福祉ジュニアカレッジ

CONTENTS

- P2 新年のごあいさつ
- P2～P3 歳末たすけあい運動
- P4 地区福祉会議を開催
- P5 はじめての片付け講座
手話奉仕員養成講座募集

- P6 フードドライブお礼とご報告
介護セミナーを開催しています
- P7 丹波篠山市ファミリーサポートセンター
善意銀行だより
丹波篠山市の福祉指標 心配ごと相談日
- P8 共同募金表彰
喫茶ふれあい news
あとがき

歳末たすけあい運動の配分を受け、小学生対象の福祉体験イベントを開催しました。参加者の皆さんは、5つの教室を体験し、楽しく福祉について学びました。



笑顔の咲く地域にこそ福は来る



丹波篠山市社会福祉協議会
会長 前田 公幸

新年あけましておめでとうございます。
輝く新年をご健勝でお迎えになられたこととお慶び
申しあげます。

さて、二〇二〇年に新型コロナウイルス感染症が
生じて四年目を迎えるようになっています。この間は、感
染の猛威に翻弄されてきた3年間でしたが、この年末
年始にかけてもオミクロン株の第8波が大流行の兆し
を見せています。特に、市内の医療・介護施設におい
て感染が拡大していることに心配しています。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻が勃発して一年
を迎えようとしています。終息の兆しを見せるどこ
ろか、戦禍が拡大し、多くの尊い命が犠牲になってい
ることに心が締めつけられる思いです。さらに、戦禍の拡
大に伴って食糧・エネルギーの資源不足が顕著な状況
となり食品や原油の高騰と円安基調による経済の停滞
から国民の生活は厳しい状況になっています。

このような八方塞がりの時代こそ、社会福祉協議会
の真価が問われていると感じています。昨年末には、
フードドライブ(自宅に余った食材等を持ち寄る)を実
施したところ、市民のみなさんから多くの食材の提供
を頂き、子育てや生活に困窮する約70世帯にお配りし
て年越しの家計緩和に役立てていただきました。

卯年の今年こそ、新型コロナウイルスで失われた地域福祉の
絆を取り戻すべき飛躍の一年としたいものです。具体
的には、笑顔が咲く地域づくりを皆さんと創りあげま
す。そのためには、幸せの三冠王を目指して、感動(感じ
て動くこと)、感心(心から感じること)、感謝(誰にもあ
りがとうの心を持つこと)の三つの感(こころ)で福祉
の絆をみなさんと再構築していきますことをお誓いし
て、新年のごあいさつとさせていただきます。

歳末たすけあい運動

つながり
みんなの地域づくり



12月1日から31日にか
けて、歳末たすけあい運
動を実施しました。皆さ
んの温かいご支援により、
多くの募金が寄せられま
した。ご協力いただき、
ありがとうございます。

12月1日には、JR篠山
口駅において、街頭募金
を行いました。午前6時
30分から1時間募金を呼
びかけ、朝の通勤時間帯
でお忙しいにもかかわらず、
皆さんにご協力をい
ただき、7,089円の募
金が集まりました。あり
がとうございました。

お寄せいただいた募金
を財源として、次の「歳
末たすけあい運動配分事
業」に活用しました。

地域歳末ふれあい
交流事業

新たな年を迎える時期
に「誰もが安心して暮ら
せる地域づくり」を目指
して、住民の皆さんが地
域で実施される支え合い
や、たすけあいを目的と
した活動に助成をしてお
り、本年度は市内の38団
体に助成を行いました。

助成を受けられた藤之
木自治会では、令和4年
4月にいきいき倶楽部を
立ち上げられ、毎週デカ
ボイ体操を実施されてい
ます。世話人の方たちは
せっかく地域の高齢の方
たちが集まっておられる
ので、体操をするだけ
なく、交流会を開きたい
と考えておられたところ、
この助成金のことを耳に
され、12月26日に地域の



子ども会にも声をかけ、
交流会を開催されました。
当日は、デカボイ体操
の後にみんなで冬の歌を
歌ったり、子どもさんた
ちの出し物のなぞなぞ大
会で脳を活性化させたり、
じゃんけん大会で盛り上
がったりと、終始和やか
な雰囲気、参加者の皆
さんは楽しいひと時を過
ごされました。

一人暮らし高齢者 友愛訪問事業

65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員が安否確認を兼ねて、シクラメンの鉢植えを贈りました。

色鮮やかなシクラメンの鉢植えを受け取られた方は「きれいでかわいらしい花をいただき、とてもうれしいです。大切に育てます。」と喜んでおられました。

障がい者福祉事業所 支援事業

市内の障がい者福祉事業所の運営に関する事業や活動に、必要経費の一部を助成しました。

短期里親配分事業

12月28日から1月4日にかけて、加古川市の児童養護施設、立正学園で生活する子どもさんが丹波篠山市の家庭で年末

始を過ごす短期里親事業が実施され、今回で60回目を迎えました。本年度は里子1名を1家庭で受け入れしていただき、受け入れ家庭に支援協力金と、里子には図書カードを贈りました。

福祉ジュニアカレッジ

12月11日に小学生を対象にした福祉体験イベント「福祉ジュニアカレッジ」を開催しました。イベントの運営には「篠山コープ委員会」と「ほととかへんネット丹波篠山」より7名の方にボランティアスタッフとしてご協力をいただき、31名の参加者は5つの福祉体験ブースを順にまわりました。

手話教室

講師には、五十川英治さんと加賀野智子さんを迎え、グー、チョキ、パーを使った日常的なあいさつの手話や、指文字で自分の名前を学び、それぞれが手話であいさつと自己紹介ができるようになった。

りました。ひとつひとつの手話の動きには成り立ちがあり、その成り立ちを知ることで、より手話に対する理解が深まっている様子でした。

高齢者疑似体験

社協職員が講師となり、特殊なゴーグルと手袋をはめ、高齢者の物の見え方や手の感覚を体験しました。新聞紙を順にめくる動きがしにくかったり、折り込みチラシの文字がぼやけて見えたり色が違って見えたりと、普段簡単にできていることも高齢になると難しくなることに驚いていました。



よ〜く近づいてみないと見えにくい!

ボッチャ

兵庫県立障害者スポーツ交流館の体育指導員の

方より、東京パラリンピックで話題になったボッチャを教わりました。ボールを投げる力加減が難しく、初めのうちは悪戦苦闘している様子でしたが、だんだん要領が分かるといい勝負になり、大盛り上がりでした。

缶バッチづくり

障がい者福祉事業所のNPO法人みらいの職員さんのご協力の下、みらいで受注されている缶バッチづくりを体験しました。それぞれがオリジナルのイラストを描いたり色を塗ったりして、世界に一つだけの缶バッチやキーホルダーなどが完成しました。

防災食教室

丹波篠山市地域活動栄養士会の皆さんに、災害時などでも調理が可能な、ポリ袋を使ったパッキッキングで、バナナケーキ作りを教えていただきました。耐熱性のポリ袋に材料を入れて混ぜ、お湯で袋ごと茹でただけでケーキができあがり、子

どもさんたちは大喜びでした。また、アルファ化米など非常食の作り方も教わり、身近な食を通して、防災について考える機会となりました。



簡単なおいしいケーキのできあがり

参加者は「家に帰って早速手話で自己紹介を披露したい。」「簡単なケーキの作り方を教えてもらえてうれしかった。」と感想を話してくれました。このイベントを通し、福祉を身近なものと感じるきっかけになれば幸いです。



地区福祉会議を開催

誰もが安心して暮らせる地域づくり

●後川地区福祉会議●

昨年11月、後川下自治会で行われた、災害時に高齢者や障がい者の避難支援を考える「誰ひとり取り残さない避難訓練事業」をきっかけに、災害時にご近所同士で声をかけ合い、助け合いながら避難ができる地域づくりの重要性を、後川地区の代表者会議で確認しました。

これを受けて、11月7日(月)、旧後川小学校体育館において開催された後川地区福祉会議では、災害が多発する今だからこそ、自治会長を中心に自治会毎で災害時の避難について話し合う取り組みが必要だと説明を聞きました。また、認知症や障がいのある方への声掛けや関わり方、避難時に使用が想定される車いすの介助方法も学びました。

参加者からは、「車いすを使ったことがなかったから、こんな機会でもない」と、いざと言う時使われへんなあ」と言った声も聞かれました。

後川郷づくり協議会の目的でもある、有事の時にみんなで助け合える地域を目指し、これからも話し合いを進めていきます。



▲熱心に話を聞く参加者

●村雲地区福祉会議●

12月10日(土)ハートピアセンターにおいて、地域役員29名の参加のもと村雲地区福祉会議が開催されました。過去2年間、新型コロナの影響で開催を断念しておりましたが、今後、各自治会で集落福祉会議を開催する流れを作るため、グループワーク中心の地区福祉会議を開催することになりました。

当日は、研修として東部地域包括支援センターの紹介、役割や具体的な支援活動についての理解を深め、引き続き3～4自治会が集まり3グループに分かれて、村雲地区の「気になる人、気になること」について話し合いました。

「災害時に1人で避難できない人をどう手助け、援助するのか」、「高齢者が増え、認知症の方も増えていく中、地域としてどう関わり合いをもって、どう手助けしていくのか」、「今後、地域役員がいろんな情報を共有できるような体制づくり」、「手助けの必要な世帯、個人に対して、隣保の協力を得ながら支援について話し合いを持つことが重要なのでは」などの意見が出ました。

この度の地区福祉会議の意見を集約し、地域の課題解決につながるよう、社協としてますます地域とかかわり、後押しできるよう取り組んでいきます。



はじめての片付け講座



テーマ 「片付けからはじめる あったかい生前整理」

👍 体に負担のかからない収納 👍 こけない工夫 など

もしものときに、この荷物はどうなるんだろう…気になるけど、どこから片付けていいかもわからない！ そんなお悩みはありませんか？ 片付けのプロから、日ごろの片付けの仕方や、もしもに備えての整理を学び、暮らしを充実させることを目的に講座を開催します！

30代、40代の方にもおすすめです。気軽に学んでみませんか。生活意欲も向上します。皆さんのご参加をお待ちしています。

日 時 2月6日(月) 13:30～15:00

場 所 丹南健康福祉センター 研修室 (2階)

講 師 ハウスクリーニングと片付けの専門家
Happy Life 山崎 由香氏

募集定員 20人(申込順)

受講料 無料

申込み 1月27日(金)までに丹波篠山市社会福祉協議会窓口、電話またはFAXで受け付けます



手話奉仕員養成講座 入門課程・夜間・募集中!

耳の不自由な人を理解し、日常会話程度の手話表現技術を学ぶ、手話奉仕員養成講座を開催します。

講座は入門課程(4月～)、基礎課程(9月～)を1年通して実施します。

あなたも「手話」を学んで、耳の不自由な人とのコミュニケーションを図ってみませんか…

講座日程 令和5年4月7日(金)～8月4日(金) (全20回) 午後7時～9時

場 所 四季の森生涯学習センター 東館 大会議室 等

対象者 市内在住・在勤で、初めて手話を学ぶ方、手話に関心がある方
(すでに、入門講座を受けた方は除く)

募集人数 30名(申込順)

受講料 無料(テキスト代3,300円は自己負担)

申込締切 3月17日(金)

その他 基礎課程・昼間(9月～)の受講案内は、6月号に掲載予定です。



<担当> 地域福祉課 板井 ☎590-1112

♡お礼とご報告♡ フードドライブ…→フードパントリー

「フードドライブ」とは、ご家庭や企業で余っている食料品、日用品を持ち寄って、生活に困っている世帯に無償で提供することで、食品ロス削減にもつながる活動です。

昨年度から始まったこの取り組みは、市役所、支所、ザ・ビッグ篠山店にもご協力いただき、各会場で活動を展開しました。期間中に皆さまから、食料品621点と日用品759点のご寄付をいただきました。心温まるご支援を本当にありがとうございました。また、配布準備にご協力いただいた、福祉委員連絡会、ボランティア連絡協議会、コープ委員会、NPO法人「結」の皆さまにも、深く感謝申し上げます。

集まりました物品は、家計が苦しく困っている69世帯に、無償で配布する活動「フードパントリー」として、12月20日、21日にお渡ししました。受け取られた方からは「たくさんの物品をありがとうございます」「年末年始は給食がないので助かります」といった声が聞かれました。

今後も、“もったいない”を“ありがとう”に変える活動として、この事業を継続していきますので、皆さまのご支援とご協力をよろしくお願いします。



フードドライブ ザ・ビッグ篠山店前にて①



フードドライブ ザ・ビッグ篠山店前にて②



フードパントリー 配分品

♡介護セミナーを開催しています♡

地域包括支援センターでは、高齢者等が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護セミナーを開催しています。センター職員が公民館等に出向いて、介護について聞いてみたいことや地域の方や高齢者等のお困りごとなどについてお話をさせていただきます。

これまでに油井自治会（古市地区）、後川地区、福住地区で開催し、“認知症カフェの開催や地域の医師による講話”“日頃や災害時のご近所の方への声掛けのポイントや車椅子を使用した介助や声掛けの体験”などを行いました。セミナーの中でセンターが高齢者等の身近な相談窓口であること、平時の見守りが災害時の見守りに繋がることなどをお伝えしました。

高齢者や障がいのある方への声掛けのしかたや介護の話など話を聞いてみたいと地域の方からご要望がありましたら、ぜひセンターまでお声掛けください。



油井自治会



後川地区



福住地区

東部地域包括支援センター（担当地区：篠山・城東・多紀） ☎ 079-556-2340
西部地域包括支援センター（担当地区：西紀・丹南・今田） ☎ 079-594-3776

第3回フォローアップ講習会

『子どもに起こりやすい 事故の予防と応急手当』

子どもと一緒に過ごしていると、予測できない行動により、予期せぬケガをすることがあります。

そのような事故を予防するため、もしものときに慌てないように、一緒に学びましょう。

と き 2月9日(木) 午前10時30分～12時

ところ 四季の森生涯学習センター東館 大会議室

講 師 日本赤十字社兵庫支部

定 員 15名

託 児 あり(要予約)

申込締切 2月2日(木)

フォローアップ講習会
申込みフォーム→



子ども一時預かり “かんがるー”

子どもさんと少しだけ離れて、息抜きしませんか。
ぜひ、一度ご利用ください。



● 2月2日(木)、3月9日(木)

四季の森生涯学習センター東館
和室(2階)

いずれも午前10時～12時



定 員 6名(生後6か月～就学前のお子さん)

利用料 子ども1人につき 1回500円

申込締切 各実施日の1週間前までに、お申し込み
ください

- ・利用には申し込みが必要です
- ・会員以外の方も利用できます



〈申し込み・問い合わせ先〉 丹波篠山市ファミリーサポートセンター 担当 上山 079-590-1388

ファミサポメール▶

善意銀行だより 11・12月分 (敬称略)

紫字表記は、配布先

【金銭預託】

松本美千代(井ノ上)	善意の預託	・・・	6,000円
(株)いわや(火打岩)	善意の預託	・・・	100,000円
天台宗多紀叡山講	善意の預託	・・・	80,000円
栗柄子供会(栗柄)	善意の預託	・・・	3,000円

【指定預託】

前川忠彦(大沢新)
白米 5kg子ども食堂へ

【物品預託】

芦田富基子(今田町芦原新田)
鉢植えの花 14鉢 今田地区ひとり暮らし高齢者

藤原 孝司(大山宮)
玄米 60kg、もち米 6kg 生活困窮者

池田 龍彦(大山下)
隼人瓜 53kg 給食サービス、障がい者事業所

天台宗多紀叡山講
砂糖 10kg 生活困窮者

匿名(畑宮)
白米 30kg 生活困窮者

匿名(垣屋)
玄米 60kg 生活困窮者

匿名(味間新)
肌着 12着 生活困窮者

西澤昭美(栗柄) 折り紙細工(11、12月)・・・給食サービス

小山玲子(大沢新) 折り紙細工(11、12月)・・・給食サービス

田中光子(川北新田)折り紙細工(11、12月)・・・給食サービス

山田 英(北) 折り紙細工(11、12月)・・・給食サービス

心配ごと相談日 下記のとおり相談日を設けています。 お気軽にご相談ください。

と き	と ころ
2月3日(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
10日(金) 9:00～11:30	丹波篠山市民センター
24日(金) 9:00～11:30	丹波篠山市民センター
3月3日(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
10日(金) 9:00～11:30	丹波篠山市民センター
17日(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター
24日(金) 9:00～11:30	丹波篠山市民センター
31日(金) 9:00～11:30	丹南健康福祉センター

丹波篠山市の福祉指標 (令和4年12月末現在)

地 区	人口(人)	65歳以上 人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下 人口(人)	年少率	増減
篠 山	11,561人	4,113人	35.6%	↓	1,177人	10.2%	→
城 東	2,855人	1,274人	44.6%	↓	240人	8.4%	↑
多 紀	2,807人	1,363人	48.6%	↑	253人	9.0%	↓
西 紀	3,764人	1,442人	38.3%	↓	402人	10.7%	→
丹 南	15,774人	4,748人	30.1%	↑	2,089人	13.2%	↓
今 田	3,162人	1,189人	37.6%	↑	265人	8.4%	↑
計	39,923人	14,129人	35.4%	→	4,426人	11.1%	↓



ご協力ありがとうございます

ご協力に感謝して



令和4年11月15日に募金推進委員会が開催されました。
開催に先立ち、長年共同募金運動に取り組み、ご寄付をいただいた団体、表彰式および感謝状贈呈式が執り行われました。共同募金運動奉仕功労団体として味間認定子ども園に兵庫県知事表彰が授与され、続いて赤い羽根共同募金協力団体と

して多紀小学校児童会に兵庫県共同募金会会長表彰が授与されました。
また、幼稚園、小・中学校をはじめ、募金協力企業、施設、そして2年以上にわたり募金推進委員として活動していただいた7名の方に、兵庫県共同募金会会長より感謝状が贈呈されました。
式典には味間認定子ども園、多紀小学校、西紀

きた幼稚園、古市小学校、西紀中学校、篠山養護学校、そして株式会社諏訪園と社会福祉法人丹南厚生会やすらぎ園から、それぞれ代表者にご出席いただき、募金推進委員が見守る中、表彰状、感謝状を受け取っていただきました。
当日ご出席いただけなかった各団体、そしていつも赤い羽根共同募金運動にご協力いただいているすべての皆さん、本当にありがとうございます。

兵庫県知事表彰

共同募金運動奉仕功労団体

・ 味間認定子ども園

兵庫県共同募金会会長

協力団体表彰

・ 多紀小学校

兵庫県共同募金会会長

協力団体感謝

- ・ たまみず幼稚園
- ・ 篠山小学校
- ・ 西紀中学校
- ・ 株式会社諏訪園
- ・ 社会福祉法人 丹南厚生会
- ・ 西紀きた幼稚園
- ・ 古市小学校
- ・ 篠山養護学校
- ・ やすらぎ園



喫茶ふれあい NEWS



喫茶ふれあいでは650円で日替わりランチをお召し上がりいただけます。

持ち帰り弁当の注文も受け賜っています。

要予約 TEL 590-1112



ミックスフライ定食

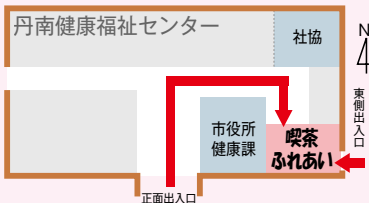


炊き込みご飯と天ぷらのお弁当

利用のご案内

日替わりランチは、数に限りがございます。お席の確保も含め、**4名以上でお食事の方は、前日までにご予約**いただくと、スムーズにご利用いただけます。

社会福祉協議会ホームページのブログにて最新のランチメニュー表をご覧ください。
(毎月月上旬に更新)



あとかぎ
年末年始のあわただしい日も、無病息災を願う「七草粥」を朝食に並べ、一段落▼午後、久々の外出も連休と重なり人出多く、せわしく電車を乗り継ぎ映画館へ▼映画が終わると、感傷に浸ることなく、家路に皆がエレベーターへ直行。昇り降り回数待ち、ようやく乗り込むと、定員オーバーを知らせるブザーの音。誰もが先を急ぐなか、奥の方から学生らしき女性が「わたし急ぎませんから」と人をかき分け外へ▼ドアは静かに閉まり、エレベーターは下降した。